

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Primary cutaneous melanoma. Optimized cutoff points of tumor thickness and importance of Clark's level for prognostic classification.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ8-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	7736394	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	75	
	号	10	
	ページ	2499-2506	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1995 May 15	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Buttner P	Institute of Medical Statistics and Informatics, Steglitz Medical Center
	その他著者 1	Garbe C	University Department of Dermatology, Steglitz Medical Center
	その他著者 2	Bertz J	Institute of Social Medicine and Epidemiology of the Federal Health Office Berlin
	その他著者 3	Burg G	Department of Dermatology Würzburg
	その他著者 4	d'Hoedt B	Department of Dermatology Tubingen

	その他著者 5	Drepper H	Fachklinik Hornheide
	その他著者 6	Guggenmoos-Holzmann I	Institute of Medical Statistics and Informatics, Steglitz Medical Center
	その他著者 7	Lechner W	Department of Dermatology Wuirzburg
	その他著者 8	Lippold A	Fachklinik Hornheide
	その他著者 9	Orfanos CE	University Department of Dermatology, Steglitz Medical Center
	その他著者 10	Peters A	Fachklinik Hornheid

一次研究の 8 項目	目的	Tumor thickness のカットオフポイントを決定する。Tumor thickness と level of invasion の組みあわせが予後予測に寄与するか検討する。		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究		
	セッティング	4ヶ所の大学皮膚科		
	対象者	1970 年から 1988 年までの黒色腫患者 5093 人		
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)		
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)		
	介入 (要因曝露)	tumor thickness、level of invasion		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分	
		1	死亡	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
		2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	主な結果	死亡の相対リスクは tumor thickness 6mmまで直線状に変化し、それ以上では変化がなかった。 Tumor thickness の cut off ポイントは 1、2、4mm が望ましい。 Level of invasion が予後にかかわるのは tumor thickness が 1mm 以下の場合であった。		
	結論	Tumor thickness の cut off ポイントは 1、2、4mm が望ましい。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志		

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV)
--	------------	--------------------